

気仙沼市大谷地区幼・小・中・公合同避難訓練で講評しました（2026/6/12）

テーマ：津波避難，学校防災

場 所：気仙沼市本吉町大谷地区（寺谷高台）

2026年6月12日（金）、気仙沼市大谷地区で津波避難訓練が行われました。同地区では、より実践に近い学び・課題を得ることを目的に、幼稚園・小学校・中学校・公民館が年に一度、合同で津波避難訓練を行っています。今年の設定は、10時50分に震度5強の地震が発生し、約20分後に10メートルの大津波が押し寄せるとの想定で実施されました。大谷地区の園児、児童、生徒、地域住民が参加し、標高約40メートルの寺谷地区内の避難場所へ避難しました。園児は先生が手を引いてはぐれないように言い聞かせ、時にはほめながら、小学生は防災頭巾をかぶり二列に並んで歩き、中学生も併せて約20分で全員が無事に避難を完了しました。講評は、当研究所の佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）が務め「実際の災害の時はもっと車の往来が多くなるので、気を付けながら避難するよう心がける。今日のように暑い時には熱中症対策も大切」とアドバイスしました。当日は地域住民合わせて約260人が避難訓練に参加しました。



避難の様子①



避難の様子②



避難完了時の様子



講評の様子

文責：小野寺克江（気仙沼分室スタッフ）
担当教員：佐藤 翔輔（防災社会推進分野）